

放課後等デイサービス事業所における自己評価集計結果

ばどま

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		安心して活動できるように安全面での配慮を心がけながら、子どもたちの活動のスペースを確保できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準以上の人員配置を常に行い、保育士・臨床発達心理士の専門性の備ったスタッフを配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	建物の構造上、完全バリアフリー化ではないため、必要に応じて職員が配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			積極的にミーティングを実施し職員間の意識付けを行なっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者の意見を取り入れ、業務改善に繋げるよう検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部の研修に参加したり、アドバイザーを迎え、定期的にアドバイスを受けています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズや、個々のアセスメントシートに基づき、支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		発達検査の結果を参考に支援しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			計画書担当を中心に活動を決め、職員で共有しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に応じたプログラムや、子供の状況に合わせたプログラム、また個別・集団のプログラムも立案しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			日頃より課題を設定し、支援をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に合わせて、個別・集団活動の課題の両方を視野に入れ計画書を作成し、職員間で共有しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日に行われる支援内容や業務の確認・報告を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		適宜情報交換をしています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後に、その日の様子を記録しています。また、支援の検証・改善に繋げています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に一度、保護者の方にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			管理者、児童発達支援管理責任者はガイドラインの総則を読み統一しています。他職員にも一読しておくよう努めます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者、必要に応じて支援現場で担当している職員が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて連携をとれる体制を整えています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			必要に応じて連携をとれる体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			適宜情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			求められた場合は保護者に確認して情報提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に研修に参加し、必要に応じて助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			LINE等のツールを利用し、さらなる連絡等を取り合えるよう努力します。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者の方と相談を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時には必ず行い、必要に応じて説明を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて相談・助言を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			支援をしていけるように検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情を受け付けた場合は管理者に報告し、状況を把握し対応を検討した上、管理者から保護者に説明する。また、職員間で共有し、再発防止に努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月の利用予定表でお知らせしています。

非常時等の対応	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付き書庫に保管のうえ、特定管理者のみが鍵を保有することで社外への流出を防いでいます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ禍の折り、密になることは避けたいのですが、収束の折りイベントに参加していただく機会をつくっていきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、職員間で情報共有しています。また、保護者の方へも周知の方法を検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回（1月・9月）実施しています。状況に応じて訓練内容を見直し実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修に参加したり、社内ミーティングで伝達講習を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			「身体拘束を行わない」という方針のもとに、支援しています。職員間で万が一に備えて共通認識・理解を図っています。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーについては把握し共有しています。指示書がある場合は、それに基づいて対応していきます。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				